

ボリビアで今 何が起きているか

—エボ・モラレス政権と再選挙を考える—

2019年10月20日にボリビアで実施された総選挙は、再選を目指すエボ・モラレスの立候補をめぐり、実施前から議論と注目を呼んでいたが、開票の過程で多くの抗議運動が起こり、結果としてエボ・モラレスの大統領辞職とメキシコへの亡命を招くことになった。総選挙の再実施に向け、ボリビアの政治と社会は不安定な状況が続いている。

この状況を我々はどのように理解すべきか、何が問題となっているのか。ボリビアを専門とする研究者が集まり議論する。

2020年1月13日（月祝）16:00～18:00

東京大学 駒場キャンパス
18号館4階 コラボレーションルーム3

※事前の申し込みは不要です。どなたでも参加できます。
※終了後、懇親会を予定しています。

登壇者：
梅崎かほり（神奈川大学）
岡田勇（名古屋大学）
藤田護（慶應義塾大学）
宮地隆廣（東京大学）

討論者：
佐藤正樹（慶應義塾大学）



Photos: H. Yamamoto

